



萌 木

5 月 号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校 長 山 田 勝

令和6年5月21日発行

成長に必要な〇〇

校長 山田 勝

中学校に入学し、また1学年進級したタイミングで、自分の目標に向け勢いよく走り始めた4月でした。5月、ゴールデンウィークの中休みが明けても、新しい環境に慣れて居場所を作る目標から一歩進み、クラスの仲間と協力しクラスという自分の居場所の中での絆を作る目的もある体育祭への取り組みに、正面から向き合って成長目指して伸び続けています。

自分の現在地を把握し、今の課題を見つけようとしたことも、大きな成長です。思い通りの2歩目が踏み出せていなくても、次の一歩を大切に成長しようという気持ちを持ち続けてほしいと思います。

本校は「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校」を目指す学校像としています。同年代の多数の生徒と関わることで成長する場を用意することが学校の使命の一つですが、その場で安心して自分の力を伸ばそうと思えなくては、学校としての役割を十分に果たせているとは言えません。在籍する441名の生徒一人一人にとってそのような場でありたいと願っています。少しでも理想の形に近づくよう取り組んでまいります。

「安心・安全」を集団での活動の中で確保するためには、集団活動内での枠組みとなるものがどうしても必要となってきます。ルールとか校則、きまりといわれるものもその一つです。生徒の「安心・安全」な成長のためにはある程度の枠組みが必要になるのではないのでしょうか。その枠組み、校則などが時代に即さなくなったりピントがずれてきたままになっていたりするものがあると、いわゆるブラックな校則ととらえられることもあるでしょう。本校でも、校則の見直しは継続して進めていますが、生徒の「安心・安全」に活動できる環境という視点は、大切にしています。

そのため、個々のケースではもう少し融通が利いてもいいのではというご意見をいただく場合もありますが、今までに起こってきた様々な事案やトラブルなどのケースを未然に防ぎ、生徒全体の「安心・安全」を担保するための視点を大切にしてお対応を進めたいと考えています。そのためにも「貴重品は原則持ってこない、持ってきたら預ける。」「通学手段は届け出た形態で行う。」「学習に関係ないものは持ち込まない。」など、当たり前の対応を確保することで生徒一人一人が、「安心・安全」に活動できる環境づくりが進められます。

中学生という世代。小学生のように丁寧に見守りをするのが優先される世代でもなく、高校生のようにある程度自分の判断で社会とかかわれる世代の狭間にあり、また、個々の成長のペースも差が大きく開いている時期です。仲間とともに育つ、成長することを考えたとき、この枠組みが自分の成長には必要なくとも、仲間のためには大切な枠組みとなるものもあることを理解して、自分が成長するベースとなる七中の仲間と過ごす枠組みを大切に尊重してほしいと思います。

七中全体が七中生一人ひとりにとって「安心・安全」に成長できる場となる取り組みにつきまして、ご理解・ご協力をお願いします。

4月26日 離任式

今年の3月に本校を去られた先生方をお迎えして、6校時に離任式を行いました。まず、代表生徒から先生へ感謝のことは、そして花束の贈呈がありました。

お見えになった先生からはお話をいただき、温かな雰囲気の中で先生方をお見送りすることができました。今まで七中生のためにご指導いただきありがとうございました。



4月27日調布市防災教育の日

1校時は命の大切さを題材とした道徳の授業、2校時は防衛省自衛隊東京地方協力本部府中分駐所から近藤様を講師にお招きし、「災害に対する備えと行動」をテーマに、実際の災害場面での自衛隊の活動も通しながら、心構えなどの防災啓発講話を受けました。

天候不良のため、引きとり訓練は各教室で行いました。また、3年生徒・保護者対象の避難所体験にも多くの方が体育館に足を運んでくださいました。

5月2日 生徒総会

5月2日(木)6校時に生徒総会が行われました。司会は生徒会役員、そして議長3年 さん、副議長3年 さん、書記3年 さん進行のもと令和5年度の活動報告に続いて、令和6年度の生徒会本部、各委員会の活動目標、活動方針提案などが発表されました。その後は質疑応答、承認が行われました。厳粛な雰囲気の中、より良い学校にするために生徒会中心に七中生が意見を出し合っていました。



七中 SNS ルール七箇条

生徒会が中心となって SNS を利用するときのルールの検討に取り組んでくれました。5月の生徒会朝礼時に七中生に SNS の使用時におけるルールの呼びかけがありました。ご家庭でも話題にいただき、一緒に確認して

- 一.やるべきことを再確認してから利用しましょう
- 一.不特定多数の人が見ていることを自覚しましょう
- 一.個人情報の扱いに気をつけましょう
- 一.保護者と話合ってルールを決めましょう
- 一.お互いの気持ちを考えて発言しましょう
- 一.時間を決めて利用しましょう
- 一.周囲の状況に応じて利用しましょう

いただければと思います。

